事業事前評価表

国際協力機構東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課

１．案件名（国名）

国名：アゼルバイジャン共和国
案件名：貧困農民支援（2KR）
The Food Security Project for Underprivileged Farmers

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における農業セクターの現状と課題

豊富な石油・天然ガスを有するアゼルバイジャン共和国（以下、アゼルバイジャン又は同国）では、GDP に占める農業の割合は 7%程度（2009 年、同国政府統計）であるが、労働人口の約 4 割は農林牧畜業に従事しており、農業以外の産業が乏しい地方農村部における主要な生計手段である。全農家の 99%(2009 年、同国農業省)は耕作面積が 5ha 以下の小規模農家であり、農業機械、灌漑設備、種子等の農業資機材の不足、融資へのアクセスが困難であること等を要因に、生産性の低い農業経営が行われており、農村部の生活水準は低いのが現状である。

農業生産性を高める手段の一つである農業機械に関し、ソ連時代の農業機械はすでに耐用年数を超えており老朽化が激しく稼働台数が減少している。このため、機材不足により適期収穫ができない、機材の燃費が悪い、性能の劣る古い機材を使用することで収穫ロスが甚大である等の問題が発生しており、農家の収益に大きな影響を与えている。他方、小規模農家の資本は不十分で個人で新しい農業機械を所有することは困難であるため、必要なときだけ農業機械を使用できる農業機械サービスのニーズが高まっている。

(2) 当該国における農業セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

貧困削減及び持続的開発国家計画（2008 年-2015 年）においては、石油・天然ガスに過度に依存した経済構造の是正に向け、農業を含む非石油分野の育成が重視されている。同計画では、農業開発と食料安全保障を達成するための具体策として、農家向けの税金免除、投入材である肥料、農薬、燃料への価格補助とともに農業機械サービス・ネットワークの拡大を行うこととしている。本事業は、農業機械サービス事業体で活用される機材を調達し、主要作物である小麦の栽培が盛んな地区の小規模農家を対象に、農業機械サービスの拡充を図るものであり、アゼルバイジャン農業セクターの開発政策に合致する。

(3) 農業セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本案件は対アゼルバイジャン共和国事業展開計画における援助重点分野「社会セクター」に位置づけられる。本事業と関連する我が国の援助実績は以下の通りである。

・無償資金協力「貧困農民支援(2KR)」1996 年度(3.5 億円)、1997 年度（4 億円)、1998 年度（3.9 億円)、1999 年度（3.8 億円)、2000 年度（4.5 億円)、2001 年度（4 億円)、2004 年度（2 億円)、2008 年度（3.5 億円）いずれも農業機械
・無償資金協力「土地改良・灌漑機材整備計画」2003 年度（6.24 億円）

(4) 他の援助機関の対応

農業分野では、世界銀行、欧州復興開発銀行、国際農業開発基金などの国際機関が、農村開発や農業金融、農業インフラ改修などの分野で、資金協力・技術協力を実施している。

３．事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、アゼルバイジャンが農業機械を調達するための資金を供与することにより、対象地域の主対象作物（小麦）の生産性向上に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

Nakhichevan 自治共和国、及び 15 地区(Sheki、Ismaylli、Yevlakh、Goranboy、Aghjabadi、Jalillabad、Bilasuvar、Beylagan、Sabirabad、Tovus、Samukh、Gusar、Khachmaz、Kurdamir、 Salyan)

(3) 事業概要

1) 調達対象品目（農業機械）

コンバインハーベスター（120 馬力以上）スペアパーツ付き（28 台）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

なし

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 2.6 億円（概算協力額（日本側））

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2011 年 4 月～2011 年 12 月を予定（G/A 署名年月から検収・引渡しまで）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

農業省、及びアグロリージング（農業機械サービスを提供する政府所有の公社）

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「JICA 環境社会配慮ガイドライン」（2004 年 4 月公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進

貧困農家は農業機械の購入が困難であるが、アグロリージングが提供する収穫ロスの少ない機材による農業機械サービスによって適期収穫と生産性の向上が可能となり収入向上が期待できる。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）

特になし。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担
特になし。
(9) その他特記事項　特になし

４．外部条件・リスクコントロール

大きな自然災害が起こらない。

５．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

過去にアゼルバイジャンで実施した 2KR では調達された農業機械は農業省の管理のもとリース契約（分割払い）により農家や農家グループに販売されてきたが、2004 年度以降はアグロリージングが全国 55 カ所のサービスセンターにて 2KR 調達農業機械を保管し、周辺の小規模農家に賃刈りサービスを提供する形とし、経済力のない農家の賃刈りサービスへのアクセスを容易にした。本事業においても同様の方法で調達機材が活用される予定である。

６．評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

アゼルバイジャンは、生産現場での農業機械の不足や、品質が悪く古い機材の使用により、農産物のロスが発生している状況にあり、国家政策の一環として全国規模で近代的な農業機械サービスを提供する組織としてアグロリージングを設立し、農業生産性の改善に取り組んでいる。アグロリージングに整備する農業機材を調達する本事業は、同計画に直接貢献するものである。

また、アゼルバイジャンは主要食用作物である小麦の自給率向上を農業政策の柱の一つとし、小麦の作付面積の拡大を図っている。本事業では小麦を栽培する 5ha 以下の規模の小規模農家を対象にコンバインハーベスターを用いた賃刈りサービスを提供し、収穫量の増加と農家の収入増を図る計画である。

以上より、アゼルバイジャン政府の政策とニーズ、我が国の援助方針に合致する本事業を実施する妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

本協力対象事業の実施により農業機械（コンバインハーベスター）が調達され、利用されることで、以下の効果が見込まれる。

1)定量的効果

① 圃場での収穫に要する単位面積当たりの作業時間が短縮される。
② 対象作物（小麦)の単収が増加する。
③ 対象作物（小麦)の生産量が増加する。

2) 定性的効果

①適切な収穫期に農業機械を用いることにより、収穫ロスの低減による反収増で農家の所得が向上する。
② 収穫作業における農家の労働負荷が軽減し、他の現金収入活動等に従事する時間を確保することが可能になる。

以　上